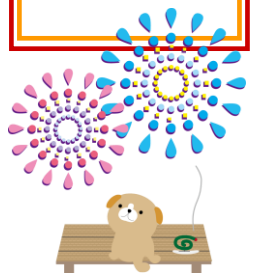


# もりもり

No. 12

発行2013年7月



出張！

## 親子レクリエーション

横尾 佳織

6月21日、下関市立室津幼稚園を訪問し、園児と保護者の方対象にレクリエーションを行いました。  
最初はアイスブレイクを兼ねて「わたしはだあれ？」「こたりの落ち葉」という親子で楽しめるゲームを行いました。

最初はアイスブレイクを兼ねて「わたしはだあれ？」「こたりの落ち葉」という親子で楽しめるゲームを行いました。休憩を挟んで、次は親子でクワッドに挑戦です。クワッドというインディアンのおまもりを作りました。小枝と毛糸でできる上に、作業自体も簡単なので、慣れば年長さんなら一人でできます。見た目でも可愛いく、親子で楽しんで作っていました。

## ピザ体験&

## オリエンテーリング

横尾 佳織

7月15日、北九州市立直倉小学校40名の皆様が深坂自然の森にいらっしゃいました。到着してすぐ、キャンプ場内の石釜に行きピザ作り体験を行いました。生地を薄くのはし材料を均等にのせていくのは意外と難しいのですが、皆さん上手に作っていました。ピザを1人1枚ペロりと平らげ、同時進行で作っていた鳥ご飯も美味しそうに食べていました。

お腹が満たされ、午後からは子どもと大人に分かれての活動です。子どもは公園内に設置されたホイコンパスを駆使してまわるオリエンテーリング。大人は野外で怪我した際の適切な処置を学ぶ野外救急法の講座を行いました。ピザは一枚500円（5枚以上から）オリエンテーリング、野外救急法は1人100円からお受けしています。完全予約制ですので、興味のある方はお気軽にお電話下さい。



# 今後の主催事業

## 第5回 子ども冒険キャンプ

日時 8月27（火）～29日（木）  
場所 深坂自然の森  
対象 小学4～6年生  
参加費 29800円  
内容 シャワークライミング、川の生きもの観察、野外炊飯、石のクラフト など  
募集期間 7月29日（月）～9日（金）



## 受託事業報告

### 知っておきたい！熱中症と対策

熱中症とは暑熱環境で発生する障害の総称で、熱失神・熱けいれん・熱疲労・熱射病に分けられます。楽しいキャンプ、バーベキューを安全に行うためにも、熱中症対策は必須です。①④の熱中症の予防策をご参考下さい。

- ①体調を整える。睡眠不足や風邪がみおのときは外出を控える
- ②服装に注意。通気性のいい服や帽子をかぶり直射日光を防ぐ
- ③こまめに水分補給。「のどが潤いた」と感じたときには既にかんりの量の水分が不足になっているものが多い。定期的に少しずつ補給しよう。
- ④年齢も考慮して。体内の機能が発育途中の子ともや、体力が衰え始めた高齢者は熱中症になりやすい。

### 出張！落ち葉あそび& 小児救急法講習

横尾 佳織

6月20日、下関市立小月幼稚園を訪問し、保護者、年長・年中、年少に分かれてプログラムを行いました。保護者プログラムでは、子どもが怪我をしたり具合が悪くなった場合、保護者はどのような対応すればいいかを学ぶ小児救急法を行いました。

年長・年中は木の枝で作った釣竿で魚に見立てた葉っぱを吊り上げ、魚の輪郭が描かれた紙に葉っぱを貼り作品を仕上げました。子どもならではの感性で葉っぱを貼り、色を塗ってあげ、子どもたちは作品を作っているときも葉っぱを吊り上げているときもとても楽しそうでした。年少は用意したどんぐりや落ち葉を画用紙にはり、オリジナルのかわむりを作りました。きれいな色の落ち葉やひかひかのどんぐりを貼り付け、できたかわむりをかぶって嬉しそうにしていました。



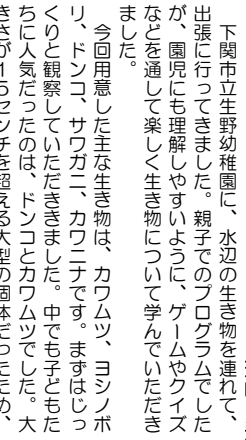
### 出張！水の生きもの観察

益崎 達

下関市立生野幼稚園に、水辺の生き物を連れて、出張に行ってきました。親子でのプログラムでしたが、園児にも理解しやすいように、ゲームやクイズなどを通して楽しく生き物について学びました。

今回用意した主な生き物は、カワムツ、ヨシノボリ、ドンコ、サワガニ、カワニナです。まずはじっくりと観察していただきました。中でも子どもたち人気だったのは、ドンコとカワムツでした。大きさが15センチを超える大型の個体だったため、一目散にその水槽に集まっていました。観察の後は、生き物についてのクイズを出しました。サワガニの雌雄の見分け方をイラストで紹介し、親子と一緒に考えて、大人も学ぶ内容を盛り込みました。

最後は手で触ってみる体験を行いました。同じ魚をすくって触っている子や、怖がってなかなか触れない子、サワガニを平気で捕まえる子など、様々な姿がありました。子どもたちは生き物に対する興味は物凄く高いです。今回は室内でしたが、親子で是非、実際の川で遊んで、楽しんでいただきたいと思います。



### 身近に潜む危険動物

いよいよ夏本番になり、キャンプやバーベキューが楽しい時期になりました。野外での活動は気持ちいいですが、同時に危険動物とも隣り合わせになります。特にこの時期、蜂やハチなどに遭遇する確立がぐんと増えるでしょう。今回は危険動物の出現場所と対処法についてご説明いたします。

#### オスズメバチ

出現場所：山林・住宅地にも営巣。夏から秋（8～10月）に頻出。9月以降凶化  
対処法：①絶対に巣に近づかない ②自分の周りを飛び始めたら近くに巣がある可能性 ③力子力子という音を出す ④刺す寸前 ④ゆっくりその場を離れる

#### オマムシ

出現場所：夏は夜間、7、8月には子持ちの個体が日光浴する。山地の森林やそれに接する水田、河川敷の草むら  
対処法：マムシが出現しやすそうな場所では肌を露出しない。河川付近の草むらにはサンダルやはだしで入らない

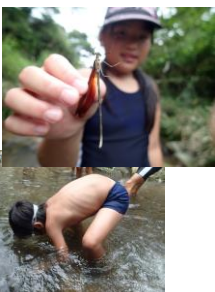
### 親子で水の生きもの観察

益崎 達

下関市立滝部小学校3年生の児童と保護者の方々が、みさかの川で生き物採集、観察を行いました。川での注意点や準備体操を終えると、今か今かと待ちわびた子ども達は一旦に川の中へと入って行きました。みさかの川は上流に位置しているため冷たく、初めは慎重に動いていたのですが、徐々に慣れて、全身水に浸かって泳ぐ子どももいました。生き物の採り方から指導しましたが、普段から川に入っている子どももい、すくえ上達し、ドンコやカワムツの稚魚、サワガニなどが多く採れました。河川の水質調査などで、きれいな川のみで生息する、その指標になる水生昆虫もいくつか出てきました。

今回は採集の中で、網や道具を一切使わずに、魚を素手で捕まえてみる事に挑戦しました。まずは魚を見つけたところから始めましたが、なかなか見つけられる事が出来ません。生き物は敵から身を守るために、体の色を目立ちにくくしている種もいますが、特に深部に生息しているドンコは、体色が石と似ているため、位置を教えることも難しいのが分かります。子ども達も苦戦していました。じっくり川の中を観察している時はとても集中していて、終了の合図が出てまだまだ未練があるのか、なかなか川から上がって来ませんでした。最後は自分たちで採集した生き物を観察しました。ドンコとヨシノボリの形態の違い、水生昆虫が自ら作る巣など、生き物についての説明をしました。説明をしっかりと聞く保護者の方々も、生き物に夢中です。サワガニを触っている子どもたちの姿が印象深かったです。説明を終え、生き物に川へ逃がしました。最後まで生き物の様子を写っている子ども達は、まるで親が我が子を見つめているような光景でした。

少しくも、生き物や川について興味をもって頂ければ嬉しいです。夏休み前に、遠くからお越し頂き、本当にありがとうございました。



# 6月の事業報告

## 水とお友達になろう！

### 第12、13回 森のようちえん

下田 裕一

不安定な天気が続いた6月、梅雨にも負けず森のようちえんを2週連続で開催しました。第12回は6月15日(土)、第13回は6月22日(土)に開催し、どちらも雨上がりの空の下、子どもたちの元気な声が響きました。

まず午前中は水遊び。足からゆっくり水に入って体を慣らしました。水をかけあつたり腰まで水に漬かってみたりして、テンションが上がる子どもたち。一緒に水をかけあつたり私も水の冷たさに思わずはしゃいでしまいました。

終盤には、川の水流を使った天然のウォータースライダー！水量が多い梅雨時期ならではの楽しみです。みんな最初は恐る恐るでしたが、滑った後に水から顔を出した時にはとびつきの笑顔を見せてくれました。

お昼ごはんを食べた後の午後は、キャンプ場の中を歩きまわしました。目的はある物を集めてくるための木の棒探しです。木の棒を持って広場に着くと、用意していたマッシュマロを焼きまわし、口に入れる中でトロトロに溶けます。あまーいマッシュマロをほおばり、だるまさんがころんだをしたりして遊んでいたら、あっという間に時間になってしまいました。

2日間を通して天候に恵まれた森のようちえん。次回も川のプログラムを中心に実施する予定です。

7月1日から5日までの5日間、広島県立神辺池高等学校のキャンプ実習に行きました。このキャンプは1、2年生の体育科計80名が対象で、自然体験を通じて、スポーツ選手基礎力の向上を目指すことがねらいです。スタッフも全園から結集し、ハードかつ天候による判断力を試されるキャンプとなりました。

食事は全て自炊。登山や慣れないテント生活のなか、衣食住全てを自分たちで管理していくのは、おそろく生徒たちにとって初めての体験ではなかったかと思えます。またその生活を通じて、彼らの成長を伺えたことは、関わったスタッフとしての喜びでもあります。

## 5日間のキャンプを終えて

井上 桂



彼らは体育科の生徒であり、基礎体力には素晴らしいものがあります。しかしそれ以上に、1年生と2年生の差をとても大きく感じました。結束力、判断力、リーダーシップ、何をこつても1年生は2年生にかないません。チームワークを要するゲームでは、全て1年生が惨敗です。この1年間の差が、彼らの成長であり力なのだと確信しました。

人間力育成に力を注ぐこの学校に関わられたことを、とても嬉しく思っています。



## 家族でわくわく！アウトドアクッキング

### 第2回アウトドアクッキング

横尾 佳織

6月16日にみさかアウトドアクッキングを開催しました。メニューはパエリア、ローストチキン、まるごと玉ねぎスープの3品。

4グループに分かれて、お父さんたちは火おこし、お母さんたちは料理に励みました。子どもたちも薪を集めたり野菜を切ったりと、家族で料理を楽しんでいる様子でした。

約2時間、各班とも無事料理が完成し近くのテラスでローストチキンで、子どもたちは我先にローストチキンを食べました。今回のメイン料理であるパエリアも失敗なく、鮮やかな黄色と美味しそうな魚介類は食欲を彩っていました。

次回も秋に開催予定です。野外料理をしてみたい方、家族でアウトドアを楽しみたい方は是非ご参加ください！



## ジャパンシリーズ前哨戦

### MTBチャレンジャークップ

下田 裕一

雨上がりの6月25日(日)、深坂自然の森でMTBチャレンジャークップが開催されました。今回は9月に行われるジャパンシリーズJ2大会で実際に使われるコースが使用されました。いわゆる前哨戦。参加者も遠くは鹿児島県や愛媛県など、各県からエントリーされていました。

レースは最初のスパートから白熱しました！先頭をぶつちぎっていた選手が2週目にみさかのメカトラブルで棄権。真剣勝負はなにか起こるかわからないですね。続いてはハイレベルな選手が集まるエキスパートクラスでした。トップはまさにし烈を極め、特に3位4位の順位は目まぐるしく変わるまさしくレッドヒート。スタッフとして間近で見ましたが、大興奮の展開でした。

その後も、チャレンジクラスではお父さんを応援する子どもたちの声も飛び、キッズクラスではエキスパートに負けない真剣勝負が繰り広げられました。

深坂に作られたコースは全般的にもテクニカルで、さらに当日は雨上がりで滑りやすいコースだったため、より難易度はアップ。転倒も多く、周回を重ねることに選手たちは泥だらけになっていました。

今回はプレ大会でしたが、次回9月28日(土)〜29日(日)はいよいよジャパンシリーズJ2大会が行われます。上位に入ればポイントによって年間順位にも関わってくるので、6月以上の真剣勝負が繰り広げられること間違いなしです！



## 出張！サバイバル講習

### 山口県秋吉台少年自然の家

益崎 達

県立山口県秋吉台少年自然の家に出張講習に行つてまいりました。今回スタッフの方々が急に行なったプログラムは、防災サバイバルと、野外救急法でした。

午前中の防災サバイバルプログラムでは、火おこし体験とつわ作りをしました。普段深坂で行っている火おこし体験は、子どもが複数名で取り組む事が多いですが、今回は単独で行いました。1時間での体験でしたが、煙が出るまでの工程も、体力的にきつく、多量の汗を流していました。

その後、野外において安全な飲み水を確保するための、つわ作りをしました。炭で木を焦がし、削り、窪みを作っていきます。つわが完成したら、窪みに水を張り、焚き火の土に入れておいた小石を水に入れ、煮沸させたら殺菌された水が確保できます。参加者の皆様は立派なつわを完成させていました。

そして午後は実演を交えた野外救急法の講習を行いました。野外で足指を捻挫した時の、救助者自身が歩けるテーピングを使った処置や、動いてもずれにくい包帯の巻き方、様々な状況を仮想し、参加者同士で実践しながら進めました。

今回初めてお伺いしましたが、素晴らしいフィールド、大変充実した施設で行っていただいた事に感謝いたします。今回のプログラムが少しでもお役に立てれば幸いです。

## 水を学ぼう

### ボランティア養成講習会

益崎 達

みさかの川でのプログラムをメインに、第6回ボランティア養成講習会が行われました。その内容は、生き物観察、シャワークライミング、そして野外における救助者の搬送練習でした。

午前中は生き物観察でしたが、前日までの大雨の影響が、普段の採集では見かけない珍しい種類の生き物が見られました。また、今回は水辺での安全管理や、生き物の生態について詳しく説明し、参加者自身が指導者の目線になって取り組んでいただきました。

午後からは、搬送練習を行いました。野外で使うザック3mほどの木の棒で、担架を作り実際に搬送を行う体験をしました。その後シャワークライミングに移り、いつもより増水した川で、搬送練習での汗を洗い流すかのように思いっきり楽しんでいただきました。最後の滝つぼでは、午前中の指導者の目線とは違い、頭まで水に浸かって、子どもたちの目線で体験する事が出来ました。

今回、少人数での開催になりましたが、これからもみさかの魅力を伝えながら開催します。ご参加お待ちしております。



## キャンプ用品レンタル可能です！！

- ドームテント 1張り 5000円 (テントマット付き)
- タープ 1張り 5000円
- 毛布 1枚 2200円
- オリーブキョウコ 1台 5000円
- (網付き。炭は持参ください)
- ランタン 1台 5000円
- ダッチオーブン、包丁、まな板、鍋、ザル、しゃもじ、おたま、飯盒
- (血、銀の深皿、平皿)
- は無料でお貸し出ししておりますので、お気軽にお申し付けください！



下関市深坂自然の森 森の家下関

〒759-6602 下関市大字蒲生野宇深坂  
TEL・FAX 083-259-8555 <http://www.misakanaturalforest.com>